

**ネクスティア生命、「夫婦と家計」に関する実態調査を実施
「いい夫婦」のヒケツは「いい家計づくり」にあり。
若い世代ほど、夫婦間で「家計」に関する話し合いが活発。**

インターネット販売専門の生命保険会社、ネクスティア生命保険株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:今井隆、URL:<http://www.nextialife.co.jp/>、以下「ネクスティア生命」)は、11月22日の「いい夫婦の日」を前に、「夫婦と家計に関する調査」結果をまとめました。 ※詳細については次頁<調査概要>をご参照下さい。

この結果、既婚男女約1,000人の調査から、「『家計』について夫婦で話し合いをしている」世帯は、20代で約85%と最も多く、若い世代ほど、夫婦での『家計』に関する話し合いが活発であることが分かりました。また、夫婦間での『家計』についてのコミュニケーションが活発な世帯の方が、夫婦の円満度は高いということも明らかになりました。

以下は、アンケート内容のハイライトです。

なお、見出し後ろの()内は、別紙の「調査結果」内の図を指します。

1. 家計について夫婦できちんと話し合っている世帯は、若い年代ほど多い(図1)

「お金の使い道」や「家計」について夫婦で話し合いをしているか聞いたところ、「話し合いをしている」人の割合は全体の74%でした。

その中で、年代別に見ると20代は84.5%と最も高く、若い年代ほど「家計について」夫婦でしっかりと話し合いをしていることが分かりました。

2. 家計についてのコミュニケーションが活発な方が、夫婦円満度が高い(図2)

「家計についての夫婦間での話し合いの有無」と「円満度」の関連性を見てみたところ、「夫婦間で家計について話し合いをしている」家庭のうち、92.8%が「(夫婦は)円満だと思う」「どちらかといえば円満だと思う」と答えており、一方「話し合いをしていない」家庭の夫婦円満度は58.9%に留まりました。

昨今の経済情勢や将来の雇用・収入等への不安感からか、若い年代ほど「お金の使い道」や「家計」に関する意識が高く、夫婦間でコミュニケーションをとっている様子が見えがえます。また、「家計」について話している夫婦ほど円満度が高いことから、夫婦で「家計」についてしっかりと話し合うことの重要性が見てとれます。まさに、「いい夫婦」のヒケツは「いい家計づくり」にあり、と言えるのではないのでしょうか。

ネクスティア生命では、今後も商品やサービスを通じて、皆様の「いい家計づくり」を応援してまいります。

<調査概要>

- 調査の目的 「夫婦」と「お金」をテーマに、夫婦間の関係や「家計」に関する実態と意識を把握する。
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査時期 2011年8月24日(水)～8月25日(木)
- 調査対象 日本国内の20～59歳の既婚男女
- 有効回答数 1,032人
- 実施機関 株式会社マクロミル

■お客さまのお問い合わせ先

カスタマーサービスセンター 0120-953-831

月～金 9:00～22:00 土・日・祝日 9:00～18:00 (年末年始の弊社休業日を除く)

～本件に関するお問い合わせ先～

ネクスティア生命保険株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 広報 上田・中本

TEL : 03-5210-1538 FAX : 03-5210-1542

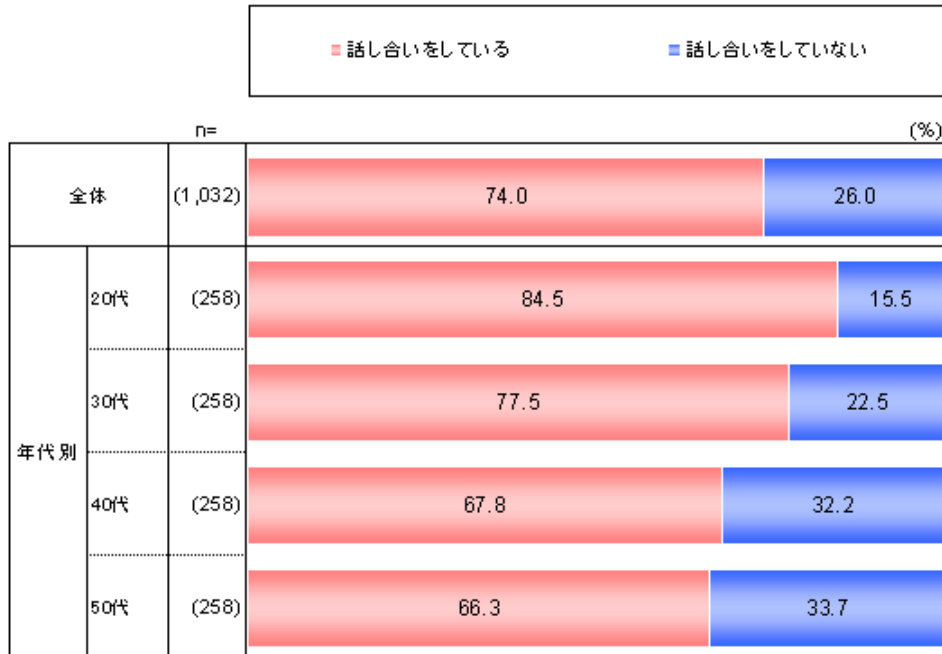
Eメール : communication@nextialife.co.jp

<http://www.nextialife.co.jp/>

調査結果

【 図 1 】

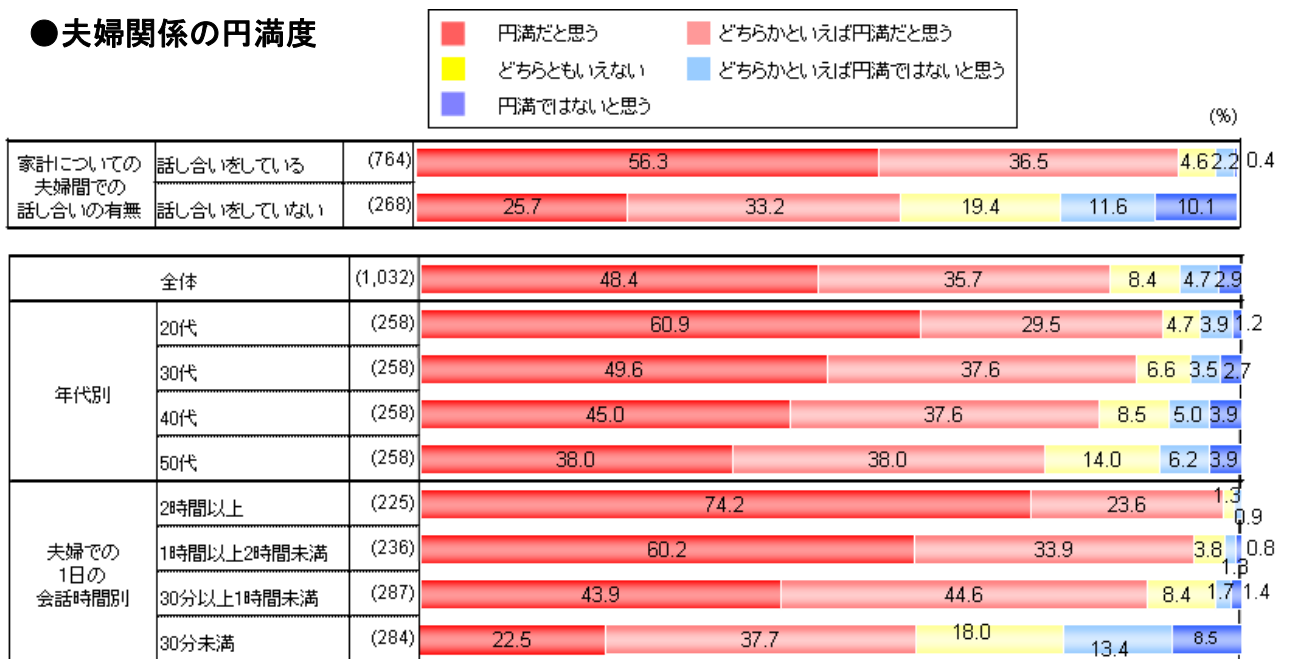
●家計についての夫婦間での話し合いの有無



回答者数: 1,032 名

【 図 2 】

●夫婦関係の円満度



回答者数: 1,032 名